

2025 年 10 月 15 日

各 位

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社
執行役員社長 CEO 亀田 信吾
(コード番号： 3823 東証スタンダード)
問合せ先： 管理本部総務部長 副島 博
電話番号： (0 3) 4 4 0 5 - 5 4 6 0

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 4 月 14 日に公表した業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

2025 年 8 月期連結業績予想と実績値との差異（2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり当期純利益 （ 円 銭 ）
前回発表予想 (A)	1, 772	129	51	5	0. 09
実績値 (B)	1, 751	△72	△786	△69	△0. 73
増減額 (B-A)	△21	△201	△837	△74	
増減率 (%)	△1. 2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 8 月期)	747	△247	△290	△961	△17. 60

2. 差異の理由

2025 年 8 月期連結業績予想と実績値との差異は上記 1 のとおりであり、売上高は前期比約 10 億円の増加となり、ほぼ業績予想のとおりとなりました。

営業利益は、前期からの黒字転換を予想しておりましたが、新規 M&A 案件取得や小室哲哉氏関連事業の業績向上等により、前期比 174 百万円の大幅改善をしたものの、ソリューション事業等において利益率が見込みよりも低下したこと及びライフスタイル事業において会計処理の見直しに伴う費用が発生したこと等により、残念ながら 72 百万円の損失にとどまりました。経常利益は産業廃棄物事業の撤退に伴う 662 百万円の損失を計上したこと等、一過性の事象により大きな経常損失を計上し、当期で撤退を確定しました。その結果、売上高、営業利益、当期純利益については前期比で大幅な改善をしました。また、2025 年 9 月末日の現預金残高は約 22 億円となりました。今後は、M&A 事業を中心として更なる業績改善を目指します。

以 上